

第3回 仙台 I ソンタクラブ 東北大学大学院
女子学生のための国際学会発表渡航支援事業 報告書

令和 元年 10月7日 記入

所属部局名：国際文化研究科博士後期課程
学 年：2年
氏 名：夏逸慧

1. 渡航先：モスクワ（ロシア）
2. 参加国際学会等の名称：54th Linguistics Colloquium
3. 開催期間：2019年9月19—22日
4. 旅行期間 2019年9月17—27日
5. 発表演題：The Onomatopoeia in Ginga Tetsudo no Yoru by Kenji Miyazawa: Comparative Study with the Russian and Chinese Translations

6. 参加した国際学会等の状況並びに感想

本学会は1966年にドイツのハンブルクで設立され、毎年18カ国のヨーロッパ諸国で開催されている。今年の会議はロシア・モスクワシティー大学で行われて、ロシア、オーストラリア、ドイツ、トルコなど15カ国から来た51名の発表者は自分の研究内容について議論や情報交換を行っていた。初めての国際海外への参加であって、宮沢賢治の作品「銀河鉄道の夜」から取り上げたオノマトペを分析対象として、日本語や中国語、ロシア語におけるオノマトペの類似点と相違点について発表した。発表の時間は20分間であり、質疑応答は10分間であった。多言語から第二言語としてオノマトペの翻訳について興味を持っている人々との交流を通じて、自分の研究内容について質問や意見をもらった。また、自分の興味のあるテーマの視野を広げ、若手の研究者と貴重な意見を交換した。今回の国際大会を通じて、自分は大きく成長したと感じた一方、まだ足りないものを実感し、今後も国内外問わず学会に参加し、成長していきたいと思う。最後に、今回の学会参加にあたり、仙台 I ソンタクラブからご支援をいただき、ありがとうございました。また、終始暖かい激励、丁寧なご指導をしてくださった副島先生にも心より感謝しております。

7. 本事業に対する要望等 特になし

- ※ この報告書は、本事業の出資団体である「仙台Iゾンクラブ」への事業成果報告として提出します。
- ※ この報告書は、本学男女共同参画委員会ホームページに掲載します。